受付	令和 7年 11月 18日
	午前・午後 3時 16分

一　般　質　問　通　告　書

令和　7年　11月　18日

高山村議会議長　梨本　進　様

高山村議会議員　　高井　央葉

質問事項	質問の趣旨
1．高山村の子ども達が心身共に安定して生活を送るために	本年 3 月「子ども真ん中 子育て応援 信州高山」を基本理念に掲げ、令和 7 年度から令和 11 年度の５年間を計画年次とする「第三期　高山村子ども・子育て支援事業計画」が策定された。 この計画の趣旨でも触れられている通り、現在、子どもを取り巻く環境は、少子化や核家族化、デジタル化、グローバル化、価値観の多様化などにより、急速、かつ大きく変化し、さらに複雑化しており、社会全体として包括的に子どもを支える取り組みが必要である。そんな子ども達、そしてその家族も含めて、この大きく変化し複雑化する社会の中で、安定した生活を送るために、本村が考えられている具体的な包括的な取り組みと、子ども達や親が困ったときに確実な支援に繋げていく相談体制について問う。
	質問要旨と質問
	①本年 3 月の一般質問で、子育て等に関わる相談体制について質問した。子育てによる心の負担が軽減できるよう体制の整備に取り組んでいくという答弁であった。今後さらに複雑化する社会情勢の中で、親や子ども達の負担が軽減できるような相談体制としてどのような体制をお考えか。 ②現在、本村で行っている『包括的な取り組み』について 1)具体的にどういった取り組みがあるか。 2)その取り組みに対する評価はどのように行っているか。 ③保育園１園、小学校１校、中学校１校という本村の状況について 1)保小中で連携して行っている施策はどういったものがあるか。 2)乳児や保育園の段階で親が抱えている心配事について、相談する窓口はどのようになっているか。また、入園や入学に際して、どのように繋げているか。 3)子ども達の支援の体制について、特に村外にある支援学校や、まなびの教室、ことばの教室、また放課後デイサービスといったところに繋ぐ体制はどのようになっていて、周知はどのようにされているか。 ④スクールカウンセラーについて 1)現在のスクールカウンセラーの状況について、年間の時間数などはどうなっているか。 2)子ども達の環境変化が激しい中で、小学校、中学校共に、年々カウンセリングが必要と感じられる子ども達が増えているとのお話を聞いている。しかしながら、県からのカウンセラーさん 1 人では時間も限られる中で、定期的な相談がなかなか出来ていない状況も同時に伺っている。定期的な相談を受けられる体制を作る必要性があると思うがいかがか。 3)転校で別の小学校に行く、中学校は高山中学校以外に行く、高校への進学等で学校が変わる際の相談事等の連携はどうなっているか。 ⑤現在村では、乳幼児は健康福祉課、保育園からは教育委員会という体制になっているが、子育て支援センターの機能の充実を図られた中で、「こども家庭課」といった１元化が求められていると思う。設置に向けての考えは。

※ 質問の趣旨・要旨は、わかりやすく記載するようご配慮ください。